

ACCESS

東京メトロ日比谷線「小伝馬町」

(徒歩4分)

1番出口を出て、小伝馬町交差点から、人形町通り(5車線の一方通行)を車の流れとは逆方向に進みます。

都営浅草線・東京メトロ日比谷線「人形町」

(徒歩6分)

A5出口を左方向に出で、交差点に戻り、交差する5車線の一方通行を車の流れに沿って進みます。

都営新宿線「馬喰横山」

(徒歩8分)

A3出口を出て、前面の5車線の一方通行の信号を渡ります。郵便局の前の裏通りの一方通行を、車の流れに沿って進みます。

JR総武線快速「新日本橋」

(徒歩10分)

5番出口(左の方)を出て、昭和通りを渡り、江戸通りに沿って、小伝馬町交差点へ出ます。交差する5車線の一方通行を車の流れとは逆方向に進みます。

東京駅八重洲口

(タクシー使用 / 料金 960 円程度)

常盤橋交差点を右折、日銀の手前の一方通行を通り、東京商品取引所入口交差点の信号付近で下車します。



一般社団法人 **日本情報システム・ユーザー協会**
Japan Users Association of Information Systems

〒103-0012

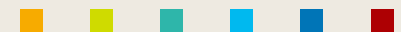
東京都中央区日本橋堀留町 2-4-3 ユニゾ堀留町二丁目ビル 8 階

TEL: 03-3249-4101 FAX: 03-5645-8493

<https://juas.or.jp/>

Associational Profile

Japan Users Association of Information Systems

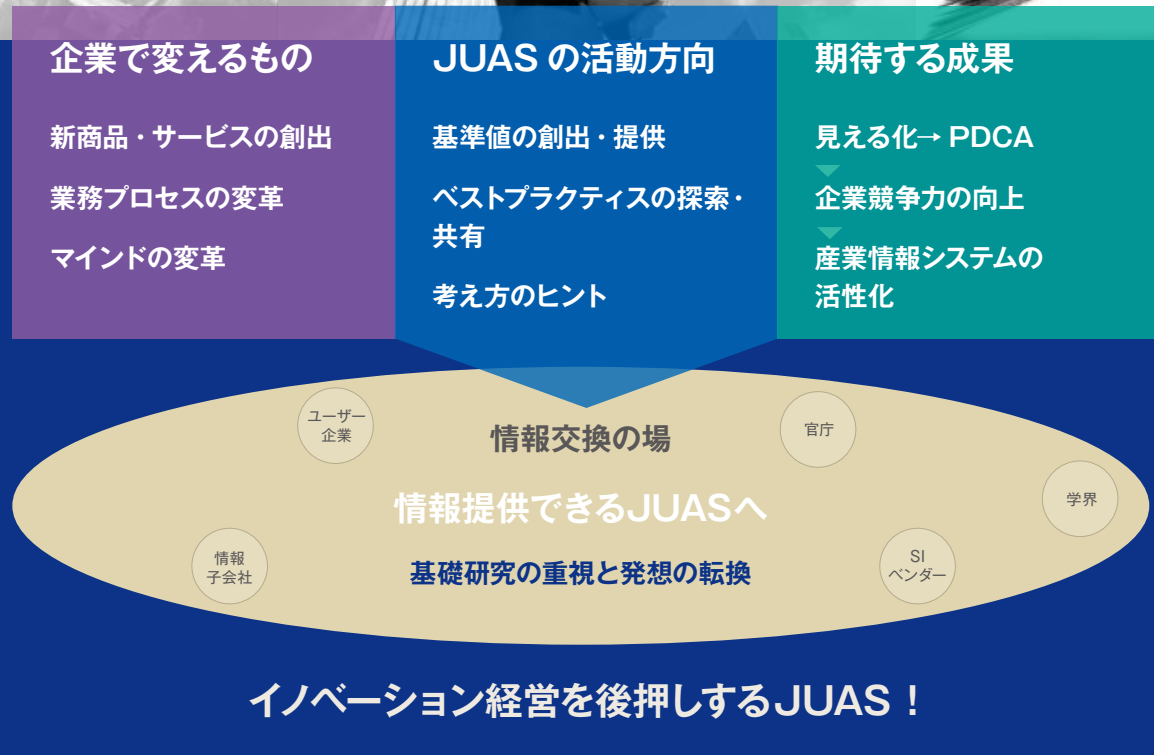
<https://juas.or.jp/>


一般社団法人
日本情報システム・ユーザー協会

ユーザーの発想が未来を創る

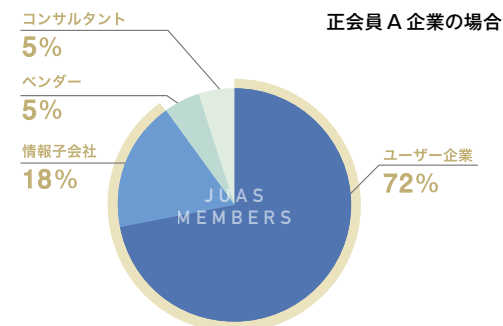
イノベーションで企業を変える、日本が変わる

JUASとは一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会(Japan Users Association of Information Systems)の略称です。今日の経済活動は、コンピューターや通信ネットワークなどの情報技術のめざましい進歩に支えられ、日々発展を続けています。そのため、「情報技術を企業活動に組み入れ、有効に機能させる」、これが企業競争力の向上のための重要課題となっています。このように企業活動と情報技術が密接なつながりを持つ中で、JUASでは単なる会員相互の知恵や情報を結集する場にとどまらず、ユーザーの立場から情報活用を推進するべく、実務に則した研究・調査を通じて、行政や情報産業界に対して積極的に情報を提供し、各種働きかけを行っています。



JUAS会員の特徵

会員は産業界の有力企業が業種・業態を越えて広く集まって構成されています。ユーザー企業、情報子会社あわせて約9割、名実ともにユーザー企業の団体として活動しています。



名称	一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 (Japan Users Association of Information Systems: JUAS)
所在地	〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 2-4-3 ユニゾ堀留町二丁目ビル 8 階 TEL: 03-3249-4101(代表・会員)、4102(教育研修)、4103(セキュリティセンター) FAX: 03-5645-8493(代表)、03-3249-6130(セキュリティセンター)
代表者	会長 大林 剛郎 専務理事 菊川 裕幸
会員数	3921 社 正会員 A: 245 社、正会員 B: 186 社、正会員 C: 3490 社 (2019 年 4 月 1 日現在)
沿革	1962 年 4 月 日本データ・プロセッシング協会創立 企業や団体においてコンピューター業務に携わる管理者・技術者が、情報交換・研究交流・相互研鑽の場として創立。1981 年 2 月に社団法人化。 1992 年 7 月 拡充改組 社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 広域情報化に代表される経営・情報化環境の変革に対応するために、ユーザーの立場での産業情報化の推進を目的とする団体として組織・運営体制を改革。 2012 年 4 月 一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会に移行
目的	本会は、産業活動における IT の高度利用(経営革新を含む)に関する調査及び研究、普及啓発及び指導、情報の収集及び提供等を行うことにより、IT 利活用の向上を促進し、もって我が国産業経済の発展に寄与することを目的とする。

- 主な活動
- IT の高度利用に関する調査及び研究
 - IT の高度利用に関する普及啓発及び指導
 - IT の高度利用に関する情報の収集及び提供
 - IT の高度利用に関する資格認定
 - IT の高度利用に関する内外関係機関等との交流及び協力
 - IT の高度利用に関する関係機関への提言及び要望

JUAS 活動紹介

Summary of Activities

JUASスクエア

ユーザー事例紹介、パネル討論会にオープンディスカッション、コンサルセッションと盛りだくさんの一大イベント



会員活動

業種、業態を越えて情報共有し、お互いに知見を得る



イノベーション経営カレッジ (IMCJ)

イノベーションリーダー育成のために



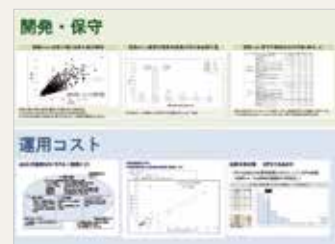
企業 IT 動向調査

企業の IT 投資や IT 利用動向を分析



ソフトウェアメトリックス調査

ソフトウェア開発・保守・運用の QCD 向上へ



セキュリティセンター

プライバシーマークの審査を行っています



JUAS 書籍・報告書

JUAS の活動結果として蓄積された豊富な知見、統計資料を広く一般に公開



JUAS セミナー

講義形式や演習形式で真の実践力を身に付ける



新人・配転者向けプログラム

20年後のイノベーション経営の担い手を育てる



JUAS 会員メリット

Benefits of Membership

業種・業態の垣根を越えた 会員活動

- 自分の会社の現状に対する客観的な判断
- 成功、失敗を問わない、ユーザー相互の本音の意見交換の場
- 組織力の強化につながる人材育成の場

フォーラム、研究会、研究プロジェクトと、3つの形態で経営と情報に関するさまざまなテーマや立場に応じた活動を行っています。「日常のIT活用レベルを向上させるテーマ」と「将来を見据えて産業情報化の発展のために今何をなすべきか」の2つの見方で、活発な議論を展開しています。

ユーザー団体 ならではの 教育研修

- 業務に役立つ実践的セミナーの開催

JUASでは「IT活用・利用」、「業務改革～IT化企画まで」、「開発・保守」、「運用」など、あらゆる場面で必要とされる知識、ノウハウをテーマに、各界の第一人者を講師に招いたセミナーを連日開催しています。このセミナーを会員割引価格で受講していただくことができます。

関連する 行政機関への 政策提言

- 各ユーザー企業の意見、要望を業界や行政に提言

情報システム関連の施策、あるいは産業界の動向に対し、ユーザー団体として一致団結し、代表して関連行政機関への提言、意見具申を行うなどの活動を行っています。

情報システムに 関連する 調査・研究

- 調査に基づくIT管理・活用の標準値の入手による、
自社の開発・活用・運用レベルの向上

研究会、研究プロジェクト、そして調査研究や委員会などを通じて、情報システムに関連するさまざまなテーマの調査、研究を行っています。年度末には報告会を開催し、その成果をHPや報告書として公開しています。

プライバシー マークの 取得・更新

- 個人情報保護管理やセキュリティ管理のための
マネジメントシステムを確立

セキュリティセンターを通じ、会員企業、およびそのグループ会社のプライバシーマークの審査を行っています。経験豊富な審査員による審査ときめ細かい対応により、個人情報保護管理やセキュリティ管理のためのマネジメントシステムを確立することができます。

■ 攻めの IT 経営

■ グローバルクリエイティブフォーラム (GCF)

政府施策に対応し、ユーザーの意見を取りまとめ、提言活動を行っています。

■ JUASアカデミー

■ 関西アカデミー

ITに関する最新技術、政策に加え、業界や市場の動き、海外動向、経営に適用しうる考え方など、時宜に即したテーマを選定。会員限定勉強会です。

■ プライバシーマーク審査

プライバシーマーク指定審査機関として、会員企業を対象に申請を受付、審査を行っています。

■ 情報セキュリティ推進

JUAS 会員企業を中心とした、企業の情報セキュリティ対応力強化を支援します。

■ 認定個人情報保護団体

「認定個人情報保護団体」として会員企業を対象に個人情報保護に関する普及・啓発を行っています。

■ イノベーションリーダー育成

情報とデジタル技術を駆使した新たな価値創造を主導するイノベーションリーダーを育成・支援します。

人材育成の場である「プログラム」は、「新たな価値を生み出すマネジメントの仕組みづくり」をテーマに、次世代マネジメント層を対象に「IMCJ2.0 (2009～2018年・16期 253名参加)」を開催しています。

また同窓生の交流の場「コミュニティ」、「ラボ」での調査研究・発信を通じ、イノベーション経営の普及・推進に取り組んでいます。

政策研究

教育研修

研究会

毎年4月に公募によりメンバーを募集。それぞれのテーマに基づいた議論の場を提供するにとどまらず、必要とされるITに関する情報を提供していきます。

- ビジネスデータ研究会
- IT インフラ研究会
- サービスマネジメント研究会
- 企業リスクマネジメント研究会
- ビジネスプロセス研究会
- IT 投資ポートフォリオ研究会
- 組織人材育成研究会
- 組織力強化研究会
- システム開発・保守 QCD 研究会
- ソーシャルデザイン実践研究会 new
- AI 研究会
- エコシステム研究会
- デジタル化研究会
- ダイバーシティ&インクルージョン研究会
- U35・次世代ITとキャリアを考える研究会 new

◆ アドバンスト研究会

◆ コミュニティ

- ワークスタイル改革コミュニティ
- JUAS ITGC (IT Girl's Community・女性技術者研究会)

JUAS Seminar

ユーザー企業の生の声に密着した実践的なテーマとプログラムを提供。「情報システムユーザー」の育成に徹底的にこだわり、ユーザー協会ならではのセミナーを多数開催しています。

■ オープンセミナー

要望の高いテーマを目的と効果レベルにあわせて開催。講演型、事例型、グループ演習型などのさまざまな形式を用意し、受講者のニーズで選択できるラインナップです。

■ 新人・配転者向けプログラム

IT部門の新人・配転者の方を対象に、IT部門の業務・役割・可能性を正しく理解し、高い意識で業務に取り組めるように支援します。

■ 中堅向けプログラム

リーダー・マネージャークラスの方を対象に、「ITマネジメントカアップ集中コース」などを実施しています。

■ 企業内研修 (オーダーメイド研修)

お客様の経営課題、人材育成方針、ニーズにあわせたオリジナルの研修を設計・提案し、実施運営いたします。

■ 出版

各種調査や会員活動の成果などを出版物として発行しています。

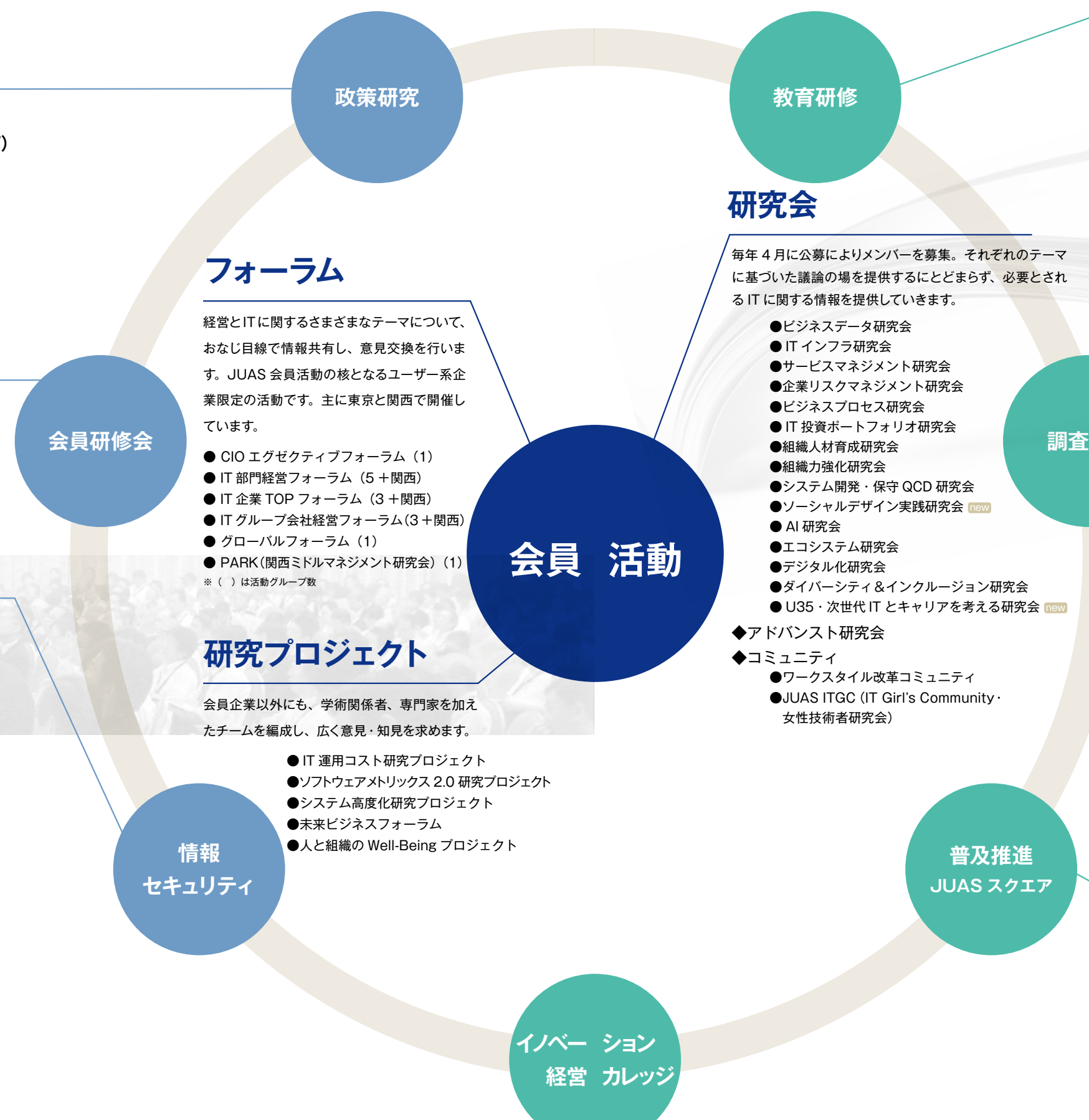
■ 企業 IT 動向調査

■ ソフトウェアメトリックス調査

「企業IT動向調査」は1994年度、「ソフトウェアメトリックス調査」は2004年度より継続して実施。ユーザー企業の実態調査として、広く参照されています。

■ JUAS スクエア

双方向型の情報発信・情報収集ができるユーザーカンファレンス「JUAS スクエア」を毎年9月に開催。経営層、ビジネス部門、IT部門、さらに学术界から多くの方々をお招きし、参加者の皆様と議論いたします。



会員研修会

フォーラム

経営とITに関するさまざまなテーマについて、おなじ目線で情報共有し、意見交換を行います。JUAS 会員活動の核となるユーザー系企業限定の活動です。主に東京と関西で開催しています。

- CIO エグゼクティブフォーラム (1)
 - IT 部門経営フォーラム (5 + 関西)
 - IT 企業 TOP フォーラム (3 + 関西)
 - IT グループ会社経営フォーラム (3 + 関西)
 - グローバルフォーラム (1)
 - PARK (関西ミドルマネジメント研究会) (1)
- ※ () は活動グループ数

研究プロジェクト

会員企業以外にも、学術関係者、専門家を加えたチームを編成し、広く意見・知見を求めます。

- IT 運用コスト研究プロジェクト
- ソフトウェアメトリックス 2.0 研究プロジェクト
- システム高度化研究プロジェクト
- 未来ビジネスフォーラム
- 人と組織の Well-Being プロジェクト

情報セキュリティ

イノベーション 経営 カレッジ

普及推進 JUAS スクエア

● 会員を対象とした活動 ● 会員外も対象とした活動